

プログラム実施児童館への視察に係るポイントについて

1. 視察の目的

- 「遊びのプログラム」調査研究について、準備からプログラム実施までの実施状況を、専門委員会メンバーが視察を通じて、確認や意見交換及び助言を行うことにより、調査研究の着実な実施ができるようにすること。
つまり、視察により企画内容の変更等を促すものではなく、プログラム実施児童館に対して専門的な視点による助言を行い、プログラム実施の手助けとなることを目的とする。

2. 視察のスケジュール

- 各児童館の企画・実行委員会実施日やプログラム実施日に視察する。

3. 視察に際しての留意ポイント

(1) プログラムに関する視点

- ・ プログラムを実施することにより、子どもの成長発達段階において、どのような効果があると考えているか。
- ・ 障害のある子どもや配慮を必要とする子どもがいる場合、その子どもの特性を踏まえたプログラムの実施についてどのように考えているか。
- ・ 子どもの視点・意見を取り入れてプログラムを実施することについて、どのように実践しているか。
- ・ 当該遊びのプログラムは、調査研究を目的として実施することを認識しているか。
- ・ 児童福祉におけるプログラムを正しく認識しているか（子どもと長期的・継続的に関わり合いを持ち、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図るもの）。

3. 視察に際しての留意ポイント（続き）

（2）児童館のあり方

- ・ 児童館と地域との関わり合いをどのように考えているか。
- ・ 中高生の居場所づくりをどのように考え実践しているか。
- ・ 子育て支援をどのように考え実践しているか。
- ・ 障害のある子どもや配慮を必要とする子どもに対してどのように考え対応を実践しているか。
- ・ 養育が困難な家庭で育った子どもに対してどのように考え対応を実践しているか。
- ・ 高齢者等との世代間交流の促進に対してどのように考え対応を実践しているか。

4. その他

- ・ プログラムの内容が企画書の内容に沿っているか。
- ・ 実施したプログラムをどのように評価するかという視点を持っているか。
- ・ 専門委員会が示したプログラムの実施における留意事項を意識して行っているか。
- ・ 専門委員会が示した報告書作成に当たっての留意事項を意識して報告書を作成しようとしているか。